作成日：　2006 年 7 月 6 日
改訂日(V.11ABC)：　2023 年 8 月 7 日

安全データシート

１．化学品及び会社情報

化学品の名称：　**ダイパワー水和剤**

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名：　日本農薬株式会社
住　所：　〒104-8386 東京都中央区京橋 1 丁目 19 番 8 号 京橋ＯＭビル
担当部門：　環境安全・品質保証部
TEL. 050-3490-3494
e-mail: kankyouanzen@nichino.co.jp
緊急連絡電話番号：(平日)　050-3490-3494（環境安全・品質保証部）
(休日、夜間)　04-2929-8961（ＡＬＳＯＫ）

推奨用途及び使用上の制限：農薬(殺菌剤)、農薬登録の範囲外の使用は不可

ＳＤＳ番号：　５１６－２６(Ｍ０６－１３)

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

健康有害性	急性毒性(吸入：粉じん、ミスト)	区分４
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分１
環境有害性	水生環境有害性　短期（急性）	区分１

ＧＨＳラベル要素

絵表示



注意喚起語　危険

危険有害性情報
重篤な眼の損傷
吸入すると有害
水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策
粉じん、ミストの吸入を避けること。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
必要なとき以外は環境への放出を避けること。
保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。

保管

廃棄　内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

他の危険有害性：特になし。

３．組成及び成分情報

化学物質･混合物の区分：混合物

有効成分化学名(一般名)：

1) 1,1'- イミニオジ(オクタメチレン)ジグアニジニウム＝トリス(アルキルベンゼンスルホナート) (一般名 イミノクタジンアルベシル酸塩)
2) cis - N - [(トリクロルメチル)チオ] - 4 - シクロヘキセン - 1,2 - ジカルボキシイミド (一般名 キャプタン)

成分及び含有量：

成　分	含有量	CAS No.	安衛法 No.	化審法 No.
イミノクタジンアルベシル酸塩	20.0%	169202-06-6	4-(5)-617	―
キャプタン	45.0%	133-06-2	8-(1)-635 (既存物質)	(9)-934
<その他>				
含水非晶質二酸化ケイ素	23.0%	112926-00-8	既存物質	(1)-548
ドデシル硫酸ナトリウム	1.3%	151-21-3	既存物質	(2)-1679
界面活性剤、その他	10.0%	―	―	―

４．応急措置

吸入した場合：　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：口の中を水で洗い、速やかに医師の手当てを受けること。初期治療として胃洗浄を行うとともに、血圧低下がみられる場合はノルアドレナリンの投与が有効であり、活性炭、ポリスチレンスルホン酸ナトリウム(商品名 ケイキサレート)を投与して吸収を阻害することも有効である。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療:

対症的に治療すること。

５．火災時の措置

適切な消火剤:　霧状の水、粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス消火剤

使ってはならない消火剤:

情報なし。

火災危険性:　本品が燃焼すると、一酸化炭素、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩素などの有害なガスが発生する。本品の微粒子は空気中で粉じんとなる可能性がある。本品の粉じん濃度が所定のレベルに達すると、粉じん爆発を起こす危険がある。

消火方法:　火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。消火作業は風上から行う。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動できない場合、容器に放水し、冷却する。

消火を行う者の保護:

燃焼により毒性･有害性ガスを発生するので、自給式呼吸器を含む消火保護具を着用のこと、風上に立ち蒸気を避ける。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置:　作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。人を退避させ、飛散･漏出した周辺にロープを張り、「立入禁止」及び「火気厳禁」の措置を行う。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項:

排水溝または水路への侵入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

漏出した製品を掃き集めるか、真空で吸い取る等の方法で、密閉できる容器に回収する。

二次災害の防止策:付近の着火原、高温体などを速やかに取り除く。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:　「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項:作業の際は、保護具を着用する。保護具については「8. ばく露防止及び保護措置」を参照の事。取扱い後はよく手、顔 を洗うこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。粉じん、ミストを吸入しないこと。作業所の十分な換気を確保する。使用前にラベルをよく読むこと。熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。火花を発生させない工具を使用すること。容器を接地すること／アースをとること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。本製品は、非晶質シリカを含有するため、多量に吸収した場合は肺障害等の健康に影響を及ぼすことが考えられる。そのため、取扱い時は、「8. ばく露防止及び保護措置」に示す保護具の着用や設備対策を講じるよう注意する。ラベルの記載以外に使用しないこと。

接触回避:　「10.安定性及び反応性」を参照のこと。

保管

安全な保管条件:　子供の手の届かないところに置くこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管すること。容器を密閉しておくこと。熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。直射日光をさけ、冷涼・乾燥した所に保管すること。

安全な容器包装材料:データなし

８．ばく露防止及び保護措置

1,1'- イミニオジ(オクタメチレン)ジグアニジニウム＝トリス(アルキルベンゼンスルホナート)のデータ

厚生労働省(管理濃度):	設定されていない
日本産業衛生学会(許容濃度):	設定されていない(2020 年度)
ＡＣＧＩＨ(ＴＷＡ):	設定されていない(2021 年度)

含水非晶質二酸化ケイ素のデータ

厚生労働省(管理濃度):	設定されていない
日本産業衛生学会(許容濃度):	第 3 種粉じん：吸入性粉じん：2 mg/m^3、総粉じん：8 mg/m^3(2020 年度)
ＡＣＧＩＨ(ＴＷＡ)	設定されていない(2021 年度)

ドデシル硫酸ナトリウムのデータ

厚生労働省(管理濃度):	設定されていない。
日本産業衛生学会(許容濃度):	設定されていない(2020 年度)
ＡＣＧＩＨ(ＴＷＡ)	設定されていない(2021 年度)

設備対策：　屋内使用の場合、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、シャワー、洗眼器を設置する。
呼吸用保護具：　防じんマスク、農薬用マスク
手の保護具：　ゴム･塩ビ等の不浸透性手袋
眼の保護具：　ゴーグル
皮膚及び身体の保護具: 不浸透性防除衣、安全靴、長袖

９．物理的及び化学的性質

物理状態　固体
形状　水和性粉末
色　類白色
臭い　微硫黄化合物臭
pH:　データなし
融点：　87.8℃ - 96.8℃(イミノクタジンアルベシル酸塩のデータ)
158 - 164℃(キャプタン原体のデータ)
凝固点:　データなし
沸点:　データなし
引火点:　データなし
自然発火点:　データなし
分解温度:　データなし
可燃性:　データなし
蒸気圧：　＜0.00016 Pa/60℃(イミノクタジンアルベシル酸塩のデータ)
＜0.00013 Pa/25℃(キャプタン原体のデータ)
相対密度:　データなし
密度：　0.31 g/cm^3(嵩密度)
溶解度：　水:混和
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow):
1.14(イミノクタジンアルベシル酸塩のデータ)
2.35(キャプタン原体のデータ)
爆発特性:　化学構造から、区分に該当しない。
爆発限界(vol %):データなし
爆発限界 上限(UEL):
130 g/m^3 粉じん爆発性(下限)
酸化特性:　分類できない
動粘性率:　データなし
粒子特性:　データなし

１０．安定性及び反応性

反応性：　200℃以上では急速に分解する。アルカリ性条件下では急速に加水分解する。
化学的安定性:　通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性:情報なし。
避けるべき条件: 高温。熱。直射日光。
混触危険物質:　強酸。強塩基。強酸化剤。
危険有害な分解生成物：　熱分解により次のものを生成する：一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物(NOx)および硫黄酸化物、塩素。

１１．有害性情報

急性毒性(経口): 区分に該当しない
ラット LD_{50} 値 (mg/kg) ♀ 2265、♂2738
マウス LD_{50} 値 (mg/kg) ＞ 5000

急性毒性(経皮): 区分に該当しない
ラット LD_{50} 値（mg/kg）＞ 2000
急性毒性(吸入):
区分に該当しない（分類対象外）（気体）
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト):吸入すると有害
下記の構成成分のデータの加算式により、区分４とした。
イミノクタジンアルベシル酸塩のデータ：
ラット LC_{50} 値（mg/L/4hr）♂ 2.15、♀0.81
キャプタン原体のデータ：
ラット LC_{50} 値（mg/L/4hr）♂ 0.72、♀ 0.87
皮膚腐食性/皮膚刺激性:
区分に該当しない
弱い刺激性（ウサギ)。
試験レポートの結果から、区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:
重篤な眼の損傷
強い刺激性（ウサギ)。
試験レポートの結果から、区分１とした。
呼吸器感作性: 分類できない
皮膚感作性 : 区分に該当しない
感作性なし(モルモット)。
生殖細胞変異原性:分類できない
イミノクタジンアルベシル酸塩のデータ：
Ames 試験：陰性
染色体異常試験：陰性
小核試験(マウス):陰性
データが不十分なため、分類できないとした。
発がん性: 分類できない
生殖毒性: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露):
分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露):
分類できない
誤えん有害性: 分類できない

１２．環境影響情報

水生環境有害性　短期（急性）:水生生物に非常に強い毒性
下記データから、区分１とした。
水生環境有害性　長期（慢性）:分類できない
生態毒性：

魚類	LC_{50} 値/96hr	2.5 mg/L（コイ）
甲殻類	EC_{50} 値/48hr	0.162 mg/L
藻類	ErC_{50} 値/0-72hr	0.0041 mg/L

残留性・分解性：製剤のデータなし
生体蓄積性： 製剤のデータなし
n-オクタノール/水分配係数 (LogPow)
イミノクタジンアルベシル酸塩のデータ：1.14
キャプタン原体のデータ：2.35
土壌中への移動性：製剤のデータなし

オゾン層への有害性：
製剤のデータ無し　分類できない
モントリオール議定書に指定された物質を含有しない。
その他の有害な影響:追加情報なし

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物:　内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。処理を外部に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
汚染容器及び包装:容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。容器、空袋等は、圃場などに放置せず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

１４．輸送上の注意

国際規制
海上規制情報:　IMO の規定に従う。
航空規制情報:　ICAO/IATA の規定に従う。
国連番号:　3077
正式輸送品名:　環境有害物質（固体）
国連分類:　9
容器等級:　III
海洋汚染物質 ：　該当
国内規制
海上規制情報:　船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報:　航空法の規定に従う。
特別な輸送上の注意:
荷役中の取扱いは慎重丁寧に行い、転倒･落下･衝撃等により容器を傷め、内容物を飛散させてはならない。輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するため、被覆すると共に、容器を動揺、摩擦、転倒、落下が起こらないように積載･輸送する。
その他の情報:　補足情報なし。

１５．適用法令

農薬取締法
毒物及び劇物取締法：毒物及び劇物に該当せず。
労働安全衛生法
表示対象物(法 57 条、施行令第 18 条)：
キャプタン(政令番号 395)
通知対象物(法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2)：
キャプタン(政令番号 395)
化学物質排出把握管理促進法(化管法)
指定化学物質：キャプタン（第一種・管理番号 685)、イミノクタジンアルベシル酸塩(第一種、管理番号 30、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が 10 から 14 のもの及びその混合物に限る）)、ドデシル硫酸ナトリウム(第一種･管理番号 275)

１６．その他の情報

参考資料：安全データシート｢ダイパワー水和剤｣(日本曹達㈱ 2023 年 2 月 14 日改訂(07 版))

本データシートの記載内容は、この化学品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。